

登山日誌

558.8.9~14

大町 (AM 5:45) 着後タクシーに合乗し七倉へ向かう。七倉登山補導所にて入山書を提出後 いよいよ槍ヶ岳登山がスタートした。...

8月10日 晴れ

5

6:45 出発。道路は補装されている 全員元気で雑談をしながらトンネルを抜け奥地へと向かう。

8:00 高瀬ダム。このダムは発電量 125 万 KW 日本一の水力発電所があるそう。記念撮影をしよう。

10

8:20 昼食場所をとりため ダムをあとにしてあるきだす途中給水をし行列は続く。ヘリコプターがどこかの山小屋に荷上げをしていた。乗せてほしい。

9:30 山道入口。道みち中で、どうすい(カニ)、取弁 etc 食欲あり

10:50 晴嵐荘に向け出発 1 時間程あるいて川原で休み

15

12:35 晴嵐荘 宿泊客はわれわれのほかは数人しかいなかった。まずはビールをのみましょう。軽装にて散歩に行く。

13:40 露天風呂をとりため 地獄へ向かう。たれかがヘリを出していたのか雷が鳴り出しターン。

20

14:50 山荘にとり、ミーティング後 ルートをかえることになり早めに寝るようになった。明日の天気はどうかかとあむつつ [20:00] 消灯

(memo) 所要時間 5 時間 50 分

8月11日 晴れ

25

4:30 起床。外はまだうす暗い。予定のルート(伊藤新道)が不通のため 2 人に早く起きたのた。...

5:00 2 日目スタート。ジャングルの中へのはいりていく。

5:45 朝食のメニューは メシ、ツケモノ になにかものたりない。

30

6:15 後かたずけをしまた歩け歩けとリーダーがほえる。

湯俣岳へ向け出発したのだが、約 40 分で森本、約 1 時間で節ヶ山と続きダラン次はたれかなめ

- 8:15. と考えつつ荒をはこんでいた。
湯俣岳についたようだ。ここで Tea time かなと思っていたが
リーダーが-----
- 9:00 ちょっとおやすみ
- 9:10 もう出発。途中、カニのヨコバイをした。
- 10:00 昼食。このあたりは景色がよかった。メニューは、メシ、カズメ
写真を写したりして約1時間。気分最高。ちょっと雲行
きがめちゃくちゃなってきた。
- 11:00 南真砂岳に向け出発。まだ少し元気が残っているみたい。
- 11:35 南真砂岳山頂 ここからのながめは良かった。舞雪のところでカズメをあけるこ
とになり。全員、リーダー
- 12:00 カズメ(メカン)を冷して食べた。(花畑をみながら)
- 12:20 真砂岳に向か、たか。途中、恐ろしい所があった。なんと、か
全員通ったか。雨が降ってきた。なんか不安になってきた。
- 13:15 真砂岳山頂 ここへ向か、たか。雨が降ってきた。なんか不安になってきた。
帰らない。
- 14:00 こんなところでながめはむよう歩きたす。あせっているの
だか、足がつかない。瀬戸さんがバテてきた。
30分歩き、5分休憩のパターンが続く。
- 15:40 水晶小屋が見えてきた。(助かったなあ) リーダーの話で
はあと30分、がんばるゾ
- 16:55 水晶小屋 ぼろ小屋のため初めの予定通り三俣山荘に向かうことに
決定。
- 17:35 ワリモ岳 山荘までのルートが2つあった。リーダーを除くとみんなダウ
ンギミのため、沢歩きをすることになった。
- 17:45 山荘が見えてきた。
- 18:30 やーとのぼりだ。しかレミで橋くんダウン。リーダーと
森本くんが先に登っていく。次に吉村、瀬戸、橋、
近江夫妻とつづく。だんだん暗くなってきた。山荘ま
でか、びしょべんに長く感じたよ(はまみ)。
- 19:40 三俣山荘 各自感想を述べよう。

20:00 夕食 どうでしたか、-----

20:30 消灯

{memo} 所要時間 14時間40分 お疲れさまでした。

8月12日 晴れ

5:45 起床

天気は快晴、景色最高、体がタタタ。朝食後出発準備を以て外にでた。遠くにきょういく 檜ヶ岳がくっきりみえている。記念写真をとります。まずは双六へ向う。

7:35

9:00

硫黄岳、赤岳を見ながら休憩。眼下に花畑が広がっていた。

9:55 双六山荘

2日目のルートとは対称的でした。給水後出発。

10:20

11:25 硫黄乗越

昼食。チキンラーメンがおいしかったですね。

12:15

おじいさんも出発したのでまけじと。いこう。赤岳は何か気持ちわるい山だった。途中 雲空になってきた。雷くるなよ！ 西鎌尾根は少しこわかった。(ガクッ倒)

14:00 千丈沢乗越

いよいよ空があやしくなってきた。もう1時間おくれ。しかし途中で雨が降りだし不安になってきた。ポンチョをきて急な上坂を一気にとはいかずはる登ったのだ。

15:40 檜ヶ岳山荘

人が多い山荘でした。3名ぐういいたのでは一人な熟睡できましたか？ 天気を気にしながら。檜ヶ岳登山のため寝ることにする。

{memo} 所要時間 8時間5分

8月13日 晴れ

4:00 起床

御来光を見るため早起きをした。外はまだ暗いのに、槍岳山頂に向かうはや人の列ができていた。かれかれもいそぎ山頂をめざす。山頂は人、人、人で満パイのため下で日の出を待つことにした。約30分待たされ頂上に立つ。

6:15

無事下山、朝食をすませ、写真を撮り槍岳山荘を

8:00

あとにする。

9:00 千丈沢乗越

ここから奥丸山に向け花畑を下っていくことになった。

10:25

瀬戸さん すばるところで「負傷」(いやく膝がガタガタや)みんなただひたすらジャングルをすすむ。

11:45 槍平分岐

中年の人に会おう。あとすこしで「槍平小屋」だ。

12:55 槍平小屋

最後の昼食(弁当、オシヤ、スープ、ミソ汁、コーヒー、キャンズ)疲れが出たもう歩きたくないです。リターン。

14:30

新穂高温泉に向けレッツゴー。

16:20 白出小屋

非常におしあつい。ここからはザリ道。

17:10

近道にはいったか。このルートは看板の偽りあり(所要時間25分)

17:50

新穂高温泉ターミナル着。

お疲れさまでした 来年も登りますか?

[memo] 所要時間 9時間50分

参加者、谷端、瀬戸、橋、森本、吉村、辻川夫妻。 以上